

## No.127 手話講座(2)

手話講座を受講した生徒の感想文を一部掲載します。

私は小さい頃に少しだけ手話を習ったり、耳が聞こえない人のドラマを見たことがあったので、手話には興味があり、少し知識はあったりしたけど、今回の講座で初めて手話の成り立ちや手話以外での意思疎通の仕方などを知ることができました。(中略)

目が見えない方は白杖を持っていたり盲導犬がいたりなど、見てすぐに「目が見えない方なんだな」と理解し配慮できるけど、耳が聞こえない方だとあまり聞こえる方との違いがないので、困っていたり、危ないときに私たちが気づきにくいことに改めて気づかされました。そのような時どのようにすれば気づくことができるのか、どのようにすれば耳が聞こえない方も安心して生活できるのか、ということを考えていました。

私は将来看護師として働くことを夢見ています。医療の現場に行くと、難聴の方と接することは多くあると思います。全ての方に安心できる看護を届けることができるように、今から手話を学んでおきたいと強く感じました。

小学校の時、目の見えない人に会って、点字などを学び、困難は多いだろうけど、障がいのある人に優しい世界に少しずつなっているなと思っていました。でも、耳が聞こえない人に対する世の中の補助を考えたとき、字幕とか手話以外に思いつくものが全くなくて、自分は耳が聞こえない人のことをそんなに知らなかったことに気づきました。

(中略)おじいちゃんが耳が遠いので、大きい声でしゃべることを意識していたけど、大きい声で喋ってもうるさいだけの人もいることを知って、これからはその辺の理解も深めたいと思いました。